

職場指導者の部下育成力向上のための「0JT 実践講座」

1. **ネライ**：管理・監督者はリーダーとして集団やチームを率いて仕事をし、部下を育成する責任があります。0JT により部下を指導する必要な意欲とスキルを強化し、自らも一回り成長する場になります。

2. **対 象**：管理・監督者

3. **カリキュラム**（研修日数：3日）

研修メニューに戻る場合は、左上のブラウザの戻り矢印  をクリックしてください。

	研修内容	研修の方法
第一日	<p>1. 人材育成のあり方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次代を担う人材像 ・人材育成手法の三つの柱 ☆リーダーの役割行動 <p>2. 0JT の進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導ニーズの把握 ・指導目標の設定 ・0JT の実施と評価 ☆指導計画書の作成 <p>3. 仕事の棚卸しと改善、割り当て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事の洗い出しと分類仕分け ・目的、有効性の追求 ・新しい業務割り当てが部下成長の契機 ☆課（部）業務棚卸し表の作成 	<p>情報提供 演習</p> <p>情報提供 演習</p> <p>情報提供 演習</p>
第二日	<p>4. 0JT 指導の具体的方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然な、あるいは意図的な機会と場の活用 ・ティーチングとトレーニングの実際 ・コーチングの実際 ☆三ヶ月計画指導のコーチング <p>5. 0JT 効果をも高める要点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モチベーション（動機付け）の高め方 ・状況対応型リーダーシップの行使 ・職場でのコミュニケーション ☆リーダーシップの自己点検と対策 	<p>情報提供</p> <p>ロールプレ</p> <p>情報提供 演習</p>
第三日	<p>フォローアップ研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・0JT 効果の評価と処置方法 ・0JT フォロー面談の進め方 ☆問題職員の管理と指導育成 	<p>情報提供 演習</p>

* 第三日のフォローアップ研修は3～6ヵ月後に実施するのが効果的です。